

## 大津赤十字病院のご紹介

大津赤十字病院は滋賀県大津市の琵琶湖をのぞむ長等山のふもとにあります。JR では京都駅から2駅の大津駅より徒歩10分、京都市地下鉄東西線直通の京阪京津線上栄駅からは徒歩1分と京都からも意外に便利な所にあります。

病院の徒歩圏内には三井寺、琵琶湖なぎさ公園など散策に適したところも多くあります。また環境の良さを反映してマンション建設も盛んです。



現在の体制は内科系スタッフ6名、後期研修医2名、ローテートの初期研修医1～3名です。呼吸器外科スタッフ3名、後期研修医1名とともに呼吸器科として診療にあっております。

昨年1年の入院患者数(外科系を含む)は1305名で、第一線病院であることを反映して悪性腫瘍が約50%、感染症が約34%とCommon diseaseが多くを占めております。高度救命救急センターを併設しており、救急からの入院患者も多いです。1日あたりの入院患者は約60名、外来患者は70名程度となっております。

診療にあたってはEBUS、気管支鏡ナビゲートシステム、呼気一酸化窒素濃度検査等も導入しレベルの向上をはかっております。気管支鏡は年間約200件を行っております。高度救命救急センターを持つことから救急患者も数多く受け入れており、喀血、外傷、急性呼吸不全等の救急疾患患者、重症患者を診る機会も多くあります。手術適応・侵襲的処置の必要な患者に対しては呼吸器外科と相談しながらスムーズに治療を継続できます。また悪性腫瘍に対しては、放射線科の協力のもとエコー下生検や放射線治療も施行可能です。なお、結核病棟はありませんが、外来・救急外来などで結核を診断することも多く、外来治療は経験できます。

日本呼吸器学会、日本呼吸器内視鏡学会、その他呼吸器外科系学会の認定施設にもなっております。日常診療で得られた知見をもとに積極的に研究会、学会発表も行っています。呼吸器学会総会・気管支内視鏡学会総会など国内学会だけでなく、ATS・ERSなどの海外学会でも発表しています。



週1回の呼吸器外科・内科共同カンファレンスと抄読会、月1回の放射線科との合同カンファレンスを行っています。

呼吸器疾患は慢性疾患から悪性腫瘍まで幅広く、また様々な社会背景を持つ患者さんがいらっしゃいます。患者さん一人一人と向き合いつつ、その人にとって最善の治療を一緒に考えていきましょう。